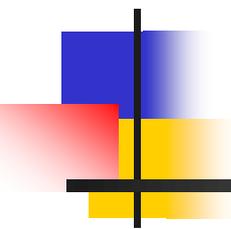


2012年8月14日



地域、古典に親しむ

群馬大学大学院 工学研究科電気電子工学専攻
小林春夫

有隣館（桐生市 群馬大工学部近く）

「徳あれば孤ならず、必ず隣り有り」（論語）

（徳があれば孤立しない。かならず人が集まってくる。）

1717年に矢野園の創業者 近江商人
初代矢野久左衛門が来住。
二代目久左衛門が1749年現在地に
店舗を構えて以来、桐生の商業に
大きく寄与してきた矢野本店の蔵群。
酒・醤油・味噌の醸造業が営まれたころ
の建物。

現在、コンサート、舞台、ギャラリーなど
様々な活用。



無鄰館 (桐生市 群馬大工学部近く)

有鄰館と道の向かい側

大正時代に建てられた織物工場。

近年は 文化創造の館。



寄らば大樹の陰 大樹将軍



馮異(ふうい)将軍 後漢 光武帝の功臣
書を好み、「左氏春秋」「孫子兵法」に通ず。
謙虚で功を誇らず。軍紀正しい。

諸将の車に出会うと道を譲る。

諸将が戦功と褒賞を論議するときは、加わらず
ひとり大樹の下に離れる。

➡ 士卒は「大樹将軍」と呼び
「大樹将軍に属したい」と願う。



処世訓

老荘思想に学ぶ

「足るを知る者は富む」

「企(つまだ)つ者は立たず、
跨(また)ぐ者はいかず。」

(足のつま先では長い時間立ってられない、
大またで歩くと一時は早く進むが遠くには行けない)